

第46回日本医用マススペクトル学会年会のお知らせ（第3報）

第46回日本医用マススペクトル学会年会長
東北大学病院 教授・薬剤部長
眞野 成康

会期：2021年9月17日（金）・18日（土）
（9月18日（土）に第9回医用質量分析認定士講習会を開催予定）

会場：

年 会：ハイブリッド開催（現地＋オンライン）

【現地・配信会場：東北大学川内北キャンパス（〒980-0856 仙台市青葉区川内41）】

講習会はオンラインで開催いたします。

年会長：眞野 成康（東北大学病院 教授・薬剤部長）

年会事務局：第46回日本医用マススペクトル学会年会事務局

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学病院 薬剤部内

事務局：三枝大輔，前川正充 TEL:022-717-7528, E-mail: jsbms46@grp.tohoku.ac.jp

年会ホームページ：<http://conference.wdc-jp.com/jsbms/2021/>

年会内容：（日程に変更がある場合がございます。何卒ご容赦願います。）

1) 特別講演：9月17日（金）10:30～11:30 第1会場

座長 眞野 成康 （東北大学）

演者 五十嵐和彦 （東北大学）

「マススペクトル技術を活用した遺伝子発現研究」

2) 教育講演：9月18日（土）11:00～12:00 第1会場

座長 東 達也 （東京理科大学）

演者 有田 誠 （慶応義塾大学／理化学研究所／横浜市立大学）

「最先端リポドミクスで解き明かす生命の脂質多様性と疾患制御」

3) シンポジウム

シンポジウム1：9月17日（金）9:00～10:20 第1会場

「臨床バイオマーカー」

オーガナイザー

佐藤恵美子 （東北大学）

シンポジスト

金光祥臣 （新潟大学医歯学総合病院）

「腸腎連関」 解明を指向した LC-MS 分析系の構築

李 賢哲 (順天堂大学)

「三連四重極型質量分析計を用いた簡便な遊離脂肪酸測定法の開発とその応用」

赤池孝章 (東北大学)

「呼気オミックスと未来型医療」

シンポジウム 2 : 9 月 17 日 (金) 13:00~14:20 第 1 会場

「脂質・過酸化脂質の網羅解析からの知見と臨床応用の展望」

オーガナイザー

惠 淑萍 (北海道大学)

仲川清隆 (東北大学)

シンポジスト

仲川清隆 (東北大学)

「LC-MS/MS による脂質過酸化の解析：アクロレインの新たな生成経路？」

陳 震 (北海道大学)

「Lipids and lipid hydroperoxides in multiple tissues from type 2 diabetic model mice」

山田直也 (自治医科大学)

「肝疾患におけるフェロトーシスの役割とその分子機構」

Siddabasavegowda B. Gowda (北海道大学)

「Global lipid fingerprinting for early disease biomarker discovery」

シンポジウム 3 : 9 月 18 日 (土) 13:30~14:50 第 1 会場

「見せて貰おうか、薬毒物鑑定における MS の利用法を！」

オーガナイザー

臼井聖尊 (東北大学)

片木宗弘 (大阪府警科捜研)

シンポジスト

藤田友嗣 (岩手医科大学)

「救急編：見せるのはちょっとだけよ！救急医療における MS 利用」

立入直紀 (宮城県警科捜研)

「警察編：分析機器は最大限に活かす

-タリウム関連事件における ICP-MS の利用-

倉上大祐 (東北厚生局)

「麻取編：様々な形態の大麻製品に対する質量分析の活用状況」

シンポジウム 4 : 9 月 18 日 (土) 15:10~16:30 第 1 会場

「医学での質量分析イメージングは本当に有用なのか？」

オーガナイザー

新聞秀一 (大阪大学)

シンポジスト

大塚洋一 (大阪大学)

「ピコ液体を活用する質量分析イメージング法の医用応用」

杉浦悠毅 (慶應義塾大学)

「 $^{18}\text{O}_2$ ガス標識による生理活性分子の代謝ターンオーバー・イメージング」

池川雅哉 (同志社大学)

「How many proteoforms are there in the human brain?」

平田岳史 (東京大学)

「The Core Competence of Inorganic Mass Spectrometry for Omics Studies」

シンポジウム 5 : 9月18日 (土) 15:10~16:30 第2会場

「臨床検査分野での質量分析活用」

オーガナイザー

佐藤 守 (株式会社エスアールエル)

中川央充 (慶應義塾大学病院)

シンポジスト

清祐麻紀子 (九州大学病院)

「微生物検査における MALDI-TOF MS の臨床運用と課題」

志水衣理 (検査医学標準物質機構)

「標準液調製の心得」

岩沢勇也 (株式会社エスアールエル)

「検査における LC/MS のバリデーション」

清宮正徳 (国際医療福祉大学)

「質量分析技術の臨床検査への応用と学生教育」

4) 共催シンポジウム : 9月18日 (土) 9:40~10:50 第1会場

「脂質研究におけるマスマスペクトロメトリーの活用」

オーガナイザー

青木淳賢 (東京大学)

シンポジスト

馬場健史 (九州大学)

北 芳博 (東京大学)

可野邦行 (東京大学)

5) テクノロジーフォーラム

6) 一般口頭発表 : 「若手優秀発表賞」を設けます

演題・事前参加申込 :

第46回年会の一般演題を下記の要領で募集致します。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。なお、演題申込の筆頭者は本学会会員である必要がありますが、共同演者および参加者は非会員でも結構です。非会員で演題申込を希望される方は、演題申込締め切り 2 日前までに入会手続きを完了してください。なお、本学会会員であっても会費

未納者には演題申込資格がありませんので、その場合は早急に未納分と本年度の年会費を払い込みください。

演題登録：

- 1) 演題申込方法：年会ホームページに演題申込ページを設置いたします。同ページの要領に従い、登録システムにてお申し込みください。演題申込は必ず事前参加登録と併せて行ってください。
- 2) 一般演題申込締切予定：6月30日（水）
演題申込期間の以降の延長はありませんのでご注意願います。
- 3) 演題申込
 - ① 抄録はすべて年会ホームページからの登録となります。案内に従って必要事項をご入力下さい。
 - ② 本文は改行して【目的】、【方法】、【結果】、【考察】の順に記入してください。図表の使用は出来ません。
 - ③ 「若手優秀発表賞」を用意しております。令和3年4月1日時点で年齢35歳以下の若手研究者が筆頭演者として応募される場合は、登録システムでの申込時に（若手優秀発表賞へのエントリーを）「希望する」を選択してください。
- 4) JSTによる年会プログラム・抄録集の無料全文公開について
抄録集は独立行政法人科学技術振興機構（JST）にて全文無料公開される予定です。

事前参加登録：

- 1) 事前参加登録用のシステムを用意いたしますので、そちらから参加登録を行ってください。詳細はシステムの案内に従ってご記入ください。
なお、できるだけ事前に参加登録をしていただきますようお願い申し上げます。
事前参加登録期間は、ホームページに掲載いたしますので、ご確認くださいませよう、よろしくお願い申し上げます。
- 2) 事前参加登録の際の払込方法：現在未定となっております。年会ホームページでご案内いたしますので、ご確認くださいませよう、お願い申し上げます。
参加費は下表の通りです。事前参加での申し込み期限・支払期限は未定です。年会ホームページでご案内いたしますので、ご確認くださいませよう、お願い申し上げます。
それ以降の参加登録・支払いは当日参加料金となりますので、ご注意ください。

	会員				非会員			
	一般		学生		一般		学生	
	事前	当日	事前	当日	事前	当日	事前	当日
参加費	6000	7000	2000	3000	10000	12000	3000	4000

※学生の方は当日、学生証をご持参ください。

- 3) 一旦払い込まれた参加費は返却できませんのでご了承ください。

企業の方へ：

年会事務局では、企業のご参加を募集しています。

- 1) 自社製品・機器を展示できる展示ブース
- 2) 抄録集における広告ページ
- 3) その他の寄付など
- 4) テクノロジーフォーラム：展示ブース開設企業を優先とした最新の機器・商品のご紹介。なお、本年会では初日の開催を予定しております。ご賛同いただける企業の方は、年会事務局までメールでお問い合わせ下さい。
メールアドレス：jsbms46@grp.tohoku.ac.jp
申込期間：2021年6月30日（木）まで